

三重県ふるさと応援寄附金

平成30年度にご寄附いただいた金額 21,046,000円

皆さまからいただいたご厚意は、県政の発展のため大切に使用させていただきました。心よりお礼申し上げます。今後も、三重県への応援をお願いいたします。

寄附金活用先事業の平成30年度実績



動物愛護の推進 3,873,000円

平成29年5月に開所した三重県動物愛護推進センター「あすまいる」を中心に、多くの方に「動物愛護の推進」に関心を持っていただくため、動物愛護教室等の活動や犬猫の譲渡事業を行っています。その結果、多くの犬・猫の譲渡（犬175匹、猫379匹）につながり、殺処分数ゼロに向け前進することができました。



地域の道美化事業募金 1,513,000円

三重県が管理する道路の舗装修繕や防草対策などの維持管理業務に充当し、快適かつ安全な道路空間の確保に活用しました。（左の写真は、県管理道路の路面補修をおこなったものです）



防災対策 1,000,000円

県民の防災意識向上のために、「みえ風水害対策の日シンポジウム」を9月に伊勢市で、「みえ地震対策の日シンポジウム」を12月に津市で開催するとともに、地域における防災・減災活動に貢献できる人材として、みえ防災コーディネーターを育成しました。



三重から発進！未来のトップアスリート応援募金 932,000円

平成30年度は14名の選手を「チームみえスーパージュニア」に指定し、各指定選手の全国大会等での活躍を目的とした強化活動費の一部に充てさせていただきました。

各選手については、皆さんからの応援を励みに、全国大会優勝11件、国際大会入賞8件等の実績につなげることができました。その中には、世界選手権やアジアカデット選手権で優勝する選手や国体での入賞に貢献した選手もあり、今後、オリンピックや三重とこわか国体等の大規模大会での活躍が期待されます。



子どもスマイルプラン(みえの出会い支援・子ども応援プロジェクト)

198,000円

結婚を希望する皆さんの出会いを応援するための取組や、結婚を社会全体で応援する機運醸成の取組、子どもの育ちを応援する「みえの子ども応援プロジェクト」の取組を実施しました。

三重の川・海美化事業募金 174,000円

令和元年度以降、三重県が管理する河川、海岸、港湾の清掃やしゅんせつ、堤防補修などの維持管理業務に充当し、安全で快適な利用環境の確保に活用させていただく予定です。

地域と若者の未来を拓く高等教育機関の充実 100,000円

県内の過疎地域等指定地域への若者の定着を図るため、当該地域への居住等を条件に、大学生等の奨学金の返済額の一部を助成する「三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業」を平成28年度から実施しており、平成30年度は支援対象者13人を認定しました。



寄附金活用先事業の平成30年度実績

三重で開催！平成30年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 95,000円

高校生が14競技15種目の競技種目別大会の競技補助に取り組むとともに、自ら企画・運営を担い、選手等にお贈りする手作り記念品「伊賀くみひものミサンガ」をモチーフにした演出により総合開会式を開催し、参加者の心に残る取り組みとすることができました。

次代の農林水産を担う人づくり 60,000円

平成30年度、三重県農業大学校では、一年課程と二年課程合わせて24名の学生が農業経営のために必要な専門知識や専門技術を学び、卒業生(13名)のうち約53%が独立自営や雇用により就農しました。この大学校の学生募集のための印刷物作成に活用しました。

自然体験等、農山漁村と都市住民との交流促進 50,000円

三重県が誇る豊かな自然を「体験」という形で生かし、国内外から多くの人を呼び込み交流の拡大を図るため、自然体験活動に携わる人材の育成や、自然体験プログラムの開発支援を行うとともに、誘客イベントの開催など活動団体や企業等と連携した情報発信に取り組まれました。

三重県総合博物館の企画展示等の充実 21,000円

「知ってる貝！見てみる貝！貝のヒミツ」、「おもちゃ大好き！～郷土玩具とおもちゃの歴史～」、「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」、「くらしの道具～いま・むかし～特集“三重の伝統産業”」の企画展4つとミニ企画展1つを開催したほか、盲学校や紀北町と連携した事業を実施する等、三重の自然や歴史・文化にふれ、学び、交流する場を提供しました。

災害時のボランティア活動への支援 10,000円

県内外の大規模災害発生時に備え、早期に復旧復興を実現するためにNPO等が行う継続的な被災地・被災者支援活動の財源として、「三重県災害ボランティア支援及び特定非営利活動促進基金」へ積立てています。

特別支援教育に係る教材・教具等の充実 6,000円

特別支援学校に在籍する児童生徒の学習活動の充実を図るため、教材・教具を購入し、自立活動等の授業で活用することで、児童生徒の主体的な学習やコミュニケーション手段の広がりにつながる取組を行うことができました。

大切な「みえの地域鉄道」を守り育てよう 5,000円

地域鉄道は、重要な公共交通機関として地域振興、観光振興、地域住民の生活の向上に寄与します。鉄道事業者や関係地方公共団体とともに協議会等を組織し、鉄道の利便性の向上や利用促進を図ることに取り組みました。

自由記入欄等で使い道のご指定をいただいた寄附 5,600,000円

- ・県立高等学校の備品・施設整備等のため(4校分) 5,390,000円
- ・県立図書館の蔵書充実のため 200,000円 ・台風21号被害からの復興のため 5,000円
- ・災害ボランティア支援等基金のため 5,000円

使途のご指定のない寄附 31,000円

平成30年度クラウドファンディング活用事業の実績

特定のプロジェクトを実施するために、期間を定めて寄附の募集を行った事業です。



三重県営サンアリーナへの体操競技用着地マットの設置 3,265,000円

〈平成30年6月29日～8月31日〉

県営サンアリーナに体操の全国大会の開催環境を整えるため、女子平均台及び女子平均台用マットを設置しました。また、寄附活動を通じ、県民のみなさんがスポーツを「する・みる・支える」ための機運の醸成づくりに貢献しました。



飼い主のいない猫の不妊・去勢手術 2,175,000円

〈平成30年6月5日～7月31日〉

繁殖力の強い猫の野外での繁殖を防ぎ、一代限りの命を見守る活動として、飼い主のいない猫を捕獲し、不妊・去勢手術をして元の地域に戻す活動をしています。平成30年は目標を大きく超える601匹の猫に不妊・去勢手術を行うことができました。



ヘルプマークでつながるおもいやりの絆づくり 572,000円

〈平成30年5月18日～平成31年3月31日〉

全国で初めての試みとして、ヘルプマーク普及のため、クラウドファンディングによる寄付金募集を実施し、ヘルプマーク（ストラップ）等の作成費用の一部に充てさせていただき、ヘルプマークを必要とする方々に配布することで、「ヘルプマークでつながる思いやりの絆づくり」の推進に取り組みしました。（左の写真はヘルプマーク（ストラップ）及びヘルプカードです。）



ダムカードを通じてダムへの理解を広げたい！ 528,000円

〈平成30年6月1日～9月30日〉

県土整備部で管理する宮川ダムと君ヶ野ダムにおいてダムカードを発行することが出来ました。



「夢追人 吉田沙保里大賞」の表彰式 430,000円

〈平成30年10月10日～10月31日〉

平成30年度は第5回「夢追人 吉田沙保里大賞」表彰式を11月3日に開催し、全国枠として柔道競技の阿部詩選手、指導者をはじめ、県内12名の選手及び指導者を表彰しました。今後、日本のトップアスリートとして、全国大会やオリンピック等の大規模大会での活躍が期待されます。



「こんなにあるんだみえの鉄道展」の内容を充実したい！ 197,000円

〈平成30年8月29日～10月8日〉

三重県には多くの魅力あふれる鉄道があり、私たちの生活や企業活動を支えています。一人ひとりが鉄道に関心や親しみをもっていただき、実際に利用していただくことを目的として、10月21日(日)近鉄百貨店四日市店において、啓発・体験イベント「こんなにあるんだ みえの鉄道展」を開催しました。当日はプラスチックレール鉄道の展示などの魅力ある企画を実施でき、約2000名の方々にご参加いただきました。



骨髄バンク事業 123,000円

〈平成30年9月7日～平成31年3月31日〉

骨髄バンクについての正しい知識や体験談、ドナー登録窓口等を記載した骨髄バンク普及啓発のための冊子「いのちの贈り物」の作成を行い、県民や県内関係機関に配布しました。



三重県ゆかりの才能発掘！若手作家を中心としたアーティストの作品収集

88,000円

〈平成30年8月1日～10月31日〉

津市白山町在住の若手作家中谷ミチコの素描2点「カラス」「黒い傘と雨」を購入しました。購入作品の額装等の展示準備が整いましたら、三重県立美術館のコレクションとして展示していく予定です。展示時期については、別途三重県立美術館ホームページ等でお知らせします。